

# さぽせんニューズレター

2016 年  
Vol.48



## CONTENTS

### 特集「ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2016」

- P.2～6・・・ちがさきサポセン☆ワイワイまつり 2016
- P.7・・・もっと知りたい！サポセンのこと【NPO 講座】
- P.8・・・ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ



2016.2.27(土)

10:00~15:30

メイン会場 中央公園

サブ会場 ちがさき市民活動  
サポートセンター

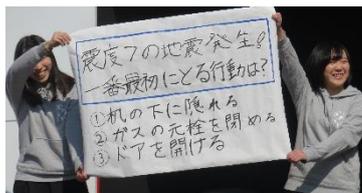
76 団体が参加・協力!

約6,000名来場

## メイン会場

### オープニング ~圧倒的な存在感!~

今年は、団体のパワーを引き出すような、真っ赤なステージカーが会場に出現!そこに七福神たちが愉快的な踊りで登場し、会場全体を暖かく盛り上げます。市長がさぼちゃんをステージに上げてくださるほほえましい場面も。大学生3人のさわやかな司会で、ワイワイまつりがいよいよスタート!



### ステージ ~団体の魅力を最大限に発揮~

総勢13団体が個性あふれるパフォーマンスを披露!ア・カペラ男声カルテット、オカリナ演奏、ハワイアンコーラス&フラダンス、防災クイズ、南三陸歌津の語り、合唱、手話ダンス、フォークを唄おう、アフリカダンスと太鼓演奏など、ステージを盛り上げます。来場者からも歌声や手拍子が生まれ、みんなでつくるステージになりました。



## 参加・協力団体一覧 \*50音順

### 【市民活動団体】

ア・カペラ男声カルテット「じゃお」 / アフメロックス / 医療生協かながわ・茅ヶ崎ブロック / NPO法人ウェルフェアポート湘南 / NPO法人NPOサポートちがさき / MOA茅ヶ崎健康生活ネットワーク / 神奈川県社会福祉士会 湘南東支部 / 神奈川ゆいまーの会 / 学生リーダー塾 HILLS / 建築デザインクラブ / NPO法人サイクルキャビン / ザ・フラワーワゴン / 三翠会 / じゃおクラブ湘南 / 手話ダンス・フライングハンズ茅ヶ崎 / 精進料理研究所 はな / 湘南オカリナ普及の会 / 湘南おわら四季の会 / 湘南こども創育プロジェクト / 湘南傾聴の会 / Team Aid For Japan~しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア / 認定NPO法人湘南ふじさわシニアネット / (社福)翔の会 / NPO法人セカンドブックアーチ / 地域活動支援センター みらまーる / 茅ヶ崎ヴォイス / NPO法人茅ヶ崎演劇鑑賞会 / Chigasaki Cat's Protect / 茅ヶ崎郷土会 / 茅ヶ崎市明るい選挙推進協議会 / NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク / 茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会 / 茅ヶ崎七福神おどり隊 / 茅ヶ崎市聴覚障害者協会 / 茅ヶ崎市まなびの市民講師有志の会 / 茅ヶ崎ラグビースクール / NPO法人地球の木・茅ヶ崎 / つなぎの会茅ヶ崎 / DIYアドバイザー神奈川 / ネパールとの架け橋 ねばるば /



## ワイワイ楽しむ、春のおまつり新定番！

ちがさきサポセン☆ワイワイまつりは、茅ヶ崎をより良くしようとしている人たち同士が「市民活動の楽しさ・おもしろさを多くの市民に伝え」「互いの活動を知り交流を深め」「力を合わせたまちづくりに取り組むきっかけにする」ことを目的に開催しています。市民活動団体を中心に、行政・企業・大学など様々な団体が連携・協力し、今年中央公園とサポセンの二つの会場で、様々な出会いと交流が生まれました。

## テーマは「ぐるぐるめぐる」

この言葉に込められた二つの意味は、「(会場内を)ぐるぐる巡る」と「ぐるめ=美食」。食べたり買ったり、見たり聴いたり…さまざまな体験をしながら、個性あふれるブースをぐるぐる巡って、「食」を切り口に新たな視点で市民活動を味わい、心もおなかも幸せ一杯満たしてほしい…！当日は穏やかな晴天に恵まれ、ワイワイまつり史上最高の人出。中央公園からサポセンまで、家族や友だち同士、多世代が集い、みんなの笑顔と優しさあふれるおまつりとなりました。

## 受付・本部 ～嬉しい出会いがたくさん！～

「おもちゃのかえっこはどこ？」「馬はどこで乗れるの？」「南三陸の海産物を売っているのはどのブース？」「スタンプラリーに参加したいのだけれど」…来場者の質問攻めに、受付ボランティアも大わらわ。広い会場で、落とし物や迷子も続出！一方で、懐かしい人との再会あり、お買い得耳より情報あり、思いがけず嬉しい出来事もたくさんありました。



## エコステーション ～みんなで協力エコ行動！～

分別に必要な備品は市役所担当課、実際の分別作業は参加団体やボランティアのご協力で作業もスムーズに行うことが出来ました。来場者の皆さんも家庭ごみで慣れているせいか、問題なく分別して下さります。次回もっとごみを減らす工夫をして、分別作業もしやすいよう努力します。



## さぼちゃん復活!!

～帰ってきました！～

人とのふれあいとおまつりを満喫したさぼちゃん。またいつかどこかで会いましょう♡



ただいま♪

### ◀さぼちゃん

サポセンのマスコットキャラクター。出生には諸説あり。実はサポテンの仲間！？

### 【市民活動団体】

南湖みんなでやんべえよ会 / ハウオリたま / NPO法人 paw pads / NPO法人発達サポートネット バオバブの樹 / フォークを唄おう / 文教大学 Karon / 文教大学湘南キャンパス学生団体 えふらぼ! / NPO法人マメポニ / 「山田耕筰」と「赤とんぼ」を愛する会

### 【企業】

GARA 中海岸 / きくやマルシェ / しんちゃんのごはんやさん / 大衆割烹 みや川 / TESH CHIWAN / TONY'S Kitchen / レストランなんどき牧場 / モリタ宮田工業(株) / (株)モンベル茅ヶ崎店

### 【行政】

茅ヶ崎市安全対策課 / 茅ヶ崎市消防本部警防救命課 / 茅ヶ崎市防災対策課

### 【協力】

アートケアひろば / AGCセイミケミカル(株) / オフィスパブリカ / 香川小学校区青少年育成推進協議会有志 / (株)K・B・Sシステム / 小和田小学校区青少年育成推進協議会有志 / 茅ヶ崎高校ボランティア同好会 / 茅ヶ崎市環境事業センター / 茅ヶ崎市子ども会連絡協議会有志 / 茅ヶ崎市市民自治推進課 / BASFジャパン(株) / NPO法人プラス・アーツ / (株)ライフサイクル / (有)レントオール平塚 / (有)ヤマガミ

## 模擬店 ～食べて買ってみんなでワイワイ！～

出店者は市民活動団体をはじめ、学生団体、市内業者など合計 17 団体。カレー、おにぎり、豚汁、揚げ物、麺類、丼物、コーヒー、ドーナツ、綿あめなどいろいろありました。来場者が多かったせいか早々と売りきれの店も多く、次回は子ども向けメニューなど品揃えをもっと多彩に、飲み物ではビールなどのアルコール類も増やして、さらに親子で楽しめるまつりを目指したいと思います。



## 体験 ～作って走って、おもしろさ発見！～

環境にやさしく災害時にも役立つソーラークッカーでの調理実演。アンケートによる活動紹介や血圧・握力・体脂肪など健康チェックもありました。また、子どもたちにはアートパルーンや木工あそび、ポニーとのふれあい、広い会場でのラグビー体験と、盛り沢山のブースで大人から子どもまで市民活動のおもしろさを体験できました。



## 物品販売 ～買って応援、売って資金集め～

定番の手作りクッキーやマドレーヌ、木工作品、手芸品、アクセサリー、地元の野菜やお米、震災を風化させないため復興支援に取り組んでいる団体が販売する東北の物産、フェアトレード品など、どのブースもバラエティに富んだ品ぞろえ。お買い物の楽しみに加え、自分でオカリナやフェルトマスコット（がんばりっちゃん）作りが楽しめるコーナーも登場。団体から販売品にまつわるストーリーを聞いて、財布のヒモもついでに緩みがちになりました。



## ▶参加団体の声

### 楽しかったこと・よかったこと・うれしかったこと

「ステージカーが思ったより広くて良かった」  
「会員の皆さんと準備を楽しくでき当日もお天気で良かった」「団結力を感じた」  
「たくさんの方と知り合うきっかけとなった」  
「多くの方が足を止め、興味を持って説明を聞いてくださったことは今後の参考になる大きな収穫だった」  
「他団体の方々とも、テント張りを手伝いあったり活動の情報交換をしたりコミュニケーションが図れた」

### 気がついたこと

「スタンプラリーはいろいろな所を回るきっかけになり良かった」「質問すると会話ができ良かった」  
「(防災プログラムで) たくさん子どもたちが来場していた。若い世代にこういった市民活動を知ってもらうのにも有効だと思った」  
「今後イベントが盛んになればなるほどゴミの問題が大きくなると思われる。ゴミ削減のための努力なり責任を明確にしたらどうだろうか」

### 工夫したこと・もっと工夫すればよかったこと

「少人数の参加だったが、衣装を揃えたので存在感があったかなと思う」  
「子ども、大人のグループを作り、シフトを組んで販売、宣伝を担当。教室では学べないことを体験できた」  
「(子どもペイント体験で) 素材の配置を工夫。きれいに配置することで年配の方の興味も引けたのでは」  
「天候に左右されるが、多めの参加見込をしておく必要があった」

### 次回チャレンジしたいこと

「啓発チラシをもっと配布し、Facebook、ツイッターの告知をもっと頻繁に行いたい」  
「他団体とのコラボ」「ステージ出演者とセッションできたらさらにイベント全体を盛り上げられる」  
「大人の放水体験」「手話による絵本読み聞かせ」  
「活動内容の紹介がパネル展示になっていたの、紙芝居のような感じで読み聞かせみたいなの催しができたらいいなと思う」

### サポセンへのメッセージ

「ボランティアの方の活躍が目についた」  
「サポセンまつりの和気あいあい感が大好き」  
「自分自身楽しかったのでもた参加したい」  
「年に 1 度しか開催されないのが、ちょっと残念」  
「色々な団体があり、茅ヶ崎の市民活動を肌で感じられるよいお祭りだと改めて感じた」  
「サポセンらしさをどう出すか等、参加団体と一緒に考えるといいなと思った」

## サブ会場

### こいこい CoiCoiサポセン for きっず

～楽しさがつまったサポセン会場～



1 週間前からおまつりムード色のセンター。壁面には子どもの絵の展示やモビールで装飾。力強い絵にパワーを貰い、いざスタート！ファミリーで楽しむ姿、優しいパパやママの眼差し、行列の似顔絵コーナー…ひとつの大家族感がありました。



### 7 団体が大きな力となって集結！

茶道コーナーは、会場を異空間に演出。初体験の子どもたちも上手にお茶をたてていました。手話や点字体験(しおりや名刺に点字)、ぶるぶる忍者や万華鏡作り、創造を膨らませて石や段ボールに描く絵、介助犬・聴導犬とのふれあいなど楽しく学ぶことができました。手話通訳者・要約筆記者の皆さんにもご協力いただき、ありがとうございました。日頃のセンターの様子とは違って変わって子どもたちが思いっきり楽しみ、学べる場にガラリと変身しました。この貴重な体験がきっと子どもたちの心に残ってくれるでしょう。



### スタンプラリー ゴール！ 景品なににしようかな？

ワクワクした表情でたくさんの親子が景品交換に来てくれました。選んでいる間にまつりの感想を聞いたりして、会話も楽しめました♪

好きな果物 1 位は「イチゴ」！  
好きな果物・野菜、苦手な果物・野菜の集計をとってみました。



子どもたちの描いた絵が駐車場に…センターのフェンスに飾られた子どもの絵が駐車スペースを誘導。発想豊かな子どもたちの絵をぜひ見にお立ち寄り下さい。





## 防災&イザ！カエルキャラバン！

＝小学生から体験できる防災プログラム＝  
～使わなくなったおもちゃを持って集まれ！～

今年度一番の大盛り上がり！起震車や放水体験、水消火器には長蛇の列。子どもたちは、楽しみながら防災の知恵や技を学び、自分の身を守ることを体で感じる事ができました。体験したり会場のお手伝いをするともらえる「カエルポイント」は、たくさん集めると自分の欲しいおもちゃと交換できるシステム。人気のおもちゃは「オークション」にかけられ、子どもたちはお目当てのおもちゃをゲットしようと一生懸命でした。



## ボランティア ～みなさんに支えられて～

まつり準備・当日に、のべ45名もの方にお手伝いいただきました。会場の飾りつけ、スタンプラリー景品準備、来場者パンフレット準備、備品・土嚢の運び出し、会場・出店者テント設営解体、看板取付、イザ！カエルキャラバン！運営補助、本部受付、写真撮影、エコステーション、スタンプラリー景品交換、清掃片付けなど、みなさんの力のお陰でまつりも大盛況でした。本当にありがと



## エンディング

～団体主導で365日の紙飛行機♪～

参加団体が集まる1月9日場所・プログラム作戦会議で「エンディング、みんなで歌うのが良いですね」「朝ドラの『365日の紙飛行機』は？」「それがいい！」とすんなり決定。

オカリナの演奏に合わせて参加団体、さぼちゃんとか来場者が大合唱。ステージ下では美しい手話ダンスも披露。最後は紙飛行機が空に舞うプレゼントに大きな拍手が。

なんと和やかなエンディングとなりました。



## 人も思いも“ぐるぐるめぐる”

茅ヶ崎では一年を通して海や里山、中央公園で様々なおまつりが開催されています。食べたり買ったり、見たり聞いたり、どのおまつりもそれぞれに目的があって、多くの市民が楽しめるような創意工夫があり、湧き上がるエネルギーや一体感を感じ取ることができます。『ワイワイまつり』が他のまつりとどこか違うとすれば、それは参加する人がみな、自分だけのためではなく「誰かのために、みんなのために」真剣に考え行動しているからではないかと思えます。ふんわりと温かい空気がまつり全体を包み込み、幸せな気分してくれます。

運営に対して、参加者からは激励の言葉とともに、時に厳しいご意見もいただきます。茅ヶ崎のまち全体をもっと魅力ある住みよいまちにしたい！というひとりひとりの思いがひしひしと伝わってきます。その思いを大切に、これからも「参加するたび好きになる」まつりを目指していきます。みなさま、ありがとうございました！

# もっと知りたい！サポセンのこと

## 『市民活動応援プログラム』～実施報告～

2016年2月～2016年3月

### 切手寄贈プログラム「さぽちゃんポスト」寄贈式@ちがさきサポセン☆ワイワイまつり

★日時：2月27日（土）12:10～12:25

「さぽちゃんポスト」は家に眠っている未使用切手をお預かりしてNPOの情報発信を応援し地域を元気にする仕組みです。今年度は11団体に68,000円分を寄贈。団体からは情報発信の充実、通信費の軽減ができると感謝の声をいただきました。

【寄贈を受けた団体】茅ヶ崎の社会教育を考える会、NPO法人 ゆい、NPO法人 WE21 ジャパンちがさき、ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト、茅ヶ崎良い映画を観る会、湘南あゆみの会、NPO法人 ウェルフェアポート湘南、茅ヶ崎市聴覚障害者協会、NPO法人 湘南ふくしネットワークオンブズマン、まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎、つなぎの会 茅ヶ崎



### ～NPO講座～

#### 「思いが伝わる！プレゼンテーション基礎講座」



日時：2/6（土）13:30～15:30  
場所：ちがさき市民活動サポートセンター  
参加者：30名  
ゲスト：吉田知津子さん  
（認定NPO法人ハンズオン！埼玉副代表理事）

#### 「NPO法人会計個別無料相談会」



日時：3/19（土）14:00～16:50  
場所：ちがさき市民活動サポートセンター  
参加：6団体  
協力：一般社団法人 公益アシストかながわ

「本当にひとに伝える」ことの根っこの部分をみなさんと考えたいという思いから、講座を開催。吉田さんには、一人ひとりの心にしっかりと残る、あたたかい講義を行っていただきました。キーワードは、「プレゼンテーション＝プレゼント」。「たった一人のために向けないと届かない。だからこれはラブレターを書く仕事なんです。」その言葉がとても印象的でした。締めくくりに、吉田さんは「伝える言葉はひとりひとりのみなさんの中にあると信じています」とエールを送ってくださいました。みなさんから「また聞きたい」「ぜひ次も！」の声が多数！「今日の講座そのものが、プレゼントのプレゼンでした」と、吉田さんのラブレターが参加者に届いた講座でした。



会計の専門集団としてサポートを行う「公益アシストかながわ」の協力を得て開催。税理士の本郷順子先生と福永裕子先生には、3時間フルで参加団体それぞれの相談にのっていただきました。参加団体からは、「NPOの実態をよく把握されており、質問に対して明瞭簡潔に即答していただいた。具体的な処理イメージが理解でき、非常に素晴らしいご指導をいただいた」と大変好評でした。

### 視察・研修受入／講師派遣

- 2/15 第8回茅ヶ崎市市民活動推進委員会 10名
- 2/17 セカンドライフセミナー「市民活動について」@シルバー人材センター 30名
- 3/23 寒川町「協働に関する研修会」70名
- 3/30 茅ヶ崎市内12地区の福祉相談室との意見交換会

## 2015年度 ちがさき市民活動サポートセンター 利用状況（2/28現在）

●利用者数 開館日数 316.3日

館内利用者数：26,104人（平均82.5人/日）／館外利用者数\*：6,345人

\*他の公共施設・会場で実施した主な主催事業

市民活動団体等と行政の協働に向けた意見交換会@市役所 / ユースボランティア茅ヶ崎オリエンテーション@社協 / イザ！カエルキャラバン！実施の後方支援@推進協等2ヶ所 / ボランティア塾 in 鶴嶺高校 / 講師派遣（ボランティア大学、セカンドライフセミナーほか） / ちがさきサポセン☆ワイワイまつり@中央公園

●問合せ・相談件数

市民、市民活動団体、企業等からの問合せ・相談総数：340件

### 飲んで国際支援～「ネパールとの架け橋 ねぱるぱ」ワンデイカフェからのお知らせ

コーヒーや紅茶1杯につき30円をネパールに寄付。今年度はお米700kg（704杯分）と震災支援に35,200円を寄付します。皆さまのご協力に感謝申し上げます。4月からは常設スタンドのみになりますが、引き続きご利用ください。

## 印刷機が新しくなりました！



3月から印刷機（黒・青2色刷り用）が新しくなりました。

（新機種：RISOGRAPH ME935）  
使い方は今までと同様。たくさんの方のご利用をお待ちしております。

## ロッカーが増設されました！



団体資料や物品保管にご利用いただけるロッカー。大型6個増設しました。使用期間は1ヶ月～最長1年（4月～翌年3月）、料金は410円/月。空き状況等は、お問合せください。

## 「大きな力」となって頑張ってくれた大学生が3人！3月末でサポセンを卒業します。旅立つにあたり、メッセージを紹介します。

さかのぼると、私が初めてセンターでの活動に参加したのは、3年前のワイワイまつり。その日も晴れていたなあ、なんてことを考えながら、先日のまつりのことを思い出し、この特集号を書いています。3年間はあっという間で、けれども、とても濃く充実した日々を過ごすことができたのはセンターに出会えたからです。これからも、センターが誰かのきっかけになる場所であってほしいな、と思っています。

寿松木 香樹

ITスタッフとして、技術的な提案や、「困った」を解決するサポート、セキュリティ関連のお仕事をさせていただきました。センターでは実務ならではの技術的な問題だけでなく、仕事をする上での人間関係など多くの学びと発見があり、とても貴重な経験をさせていただきました。また、自分の活動が少しでもお役に立てていたら幸いです。今後もセンターが利用者様の活動に貢献できる場所として機能し続けることを祈っております。

嶋崎 一成

サポセンでITスタッフとして、利用者の皆さまが快適にパソコンを使えるような環境の整備をする裏方をしていました。

仕事を通して、技術も大事だけど、人とのつながりをもっと意識するべきで、日々の信頼を積み重ねることが大事である事を学びました。

田中 乃之



▲左から 寿松木/田中/嶋崎

# ABOUT US

## ▶ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体やNPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちがこれから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。



▶開館時間 9:30～21:30

▶休館日 毎月第3水曜日、年末年始（12/28～1/3）

▶アクセス JR茅ヶ崎駅北口より徒歩10分程度  
駐車場10台程度 駐輪場あり

▶連絡先 〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎3-2-7  
TEL/FAX: 0467-88-7546  
Eメール: s-center@pluto.plala.or.jp  
ホームページ: <http://sapocen.net/>

▶指定管理者 特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき  
(指定管理期間: 2013年4月1日～2017年3月31日)

